

※資料編（環境データ）

（1）ニームス（Ni-EMS）について

1)ニームス（Ni-EMS）とは？

ニームスとは、新居浜市独自の環境マネジメントシステムの通称名。平成16年10月6日、新居浜市役所本庁舎内の組織の事務事業を対象範囲として、環境マネジメントシステム（環境管理システム）の国際規格ISO14001の認証を取得し、継続的な環境改善を図ってまいりました。

新居浜市は、環境基本計画、環境保全行動計画、地球温暖化率先行動計画を策定し、全部署を対象としてこれらの環境関連計画を進行管理しており、職員は、ISOにおける環境管理と混乱していました。

そのようなことから、平成19年4月、ISO活動の成果と課題をもとに、新居浜市独自の環境マネジメントシステム（Ni-EMS：通称 ニームス）を構築し、運用を開始しました。

ニームスの特徴は、ISO14001で構築した体制は維持しつつ、対象範囲をこれまでの本庁舎からすべての課所に拡大し、各課所で目標設定を行い、電気や燃料などの維持経費の削減に努め、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき策定した『エコアクションプランにはま（地球温暖化対策率先行動計画）』を効率よく推進し、積極的に地球温暖化対策に取り組んでいること、ISO14001審査員資格者、エコアクション21審査員資格者、愛媛県地球温暖化防止活動推進員等市民10名に環境監査委員として、市民の目線で市役所の環境活動を確認・助言していただいています。

※ISO14001とニームスのちがい

項目	ISO14001	ニームス
対象範囲	本庁舎内の部所	全部所
要求事項	ISO14001	新居浜市独自
システム文書類	多い	少ない
環境監査	市職員（内部監査）	環境監査と審査を統合 （市民環境監査委員 10人で実施）
審査	外部審査機関	
経費	多い	少ない
その他	難しい単語が多く、難解	わかりやすい

※資料編（環境データ）

2)環境方針とは？

環境方針とは、平成19年4月1日に、環境マネジメントシステムを運営していく上での、基本的な取組の姿勢を明確にした環境管理総括者（市長）の表明の事です。

組織外への、環境保全に取り組む意思表示であり、組織内においては、環境保全に取り組む職員の意思統一のためのシンボルとなるものです。



こどもたちの未来のために
人と自然が共生し、かけがえのない環境を
大切にすまち “にいほま”

1 基本理念

私たちの住む新居浜は、公害を体験し、克服してきた歴史があるまちです。その先人の取組が、肥沃な大地と海と山の豊かな自然の恵みをもたらし、潤いと安らぎを与えてくれています。このすばらしい環境は、先人から受け継いだかけがえのない遺産であるとともに、将来の世代に必ず引き継がなければならない貴重な財産でもあります。

そのためには、市、市民及び事業者がそれぞれの責務を果たし、互いに協力し、学び合いながら、協働して新居浜の環境の保全及び創造に努めなければなりません。

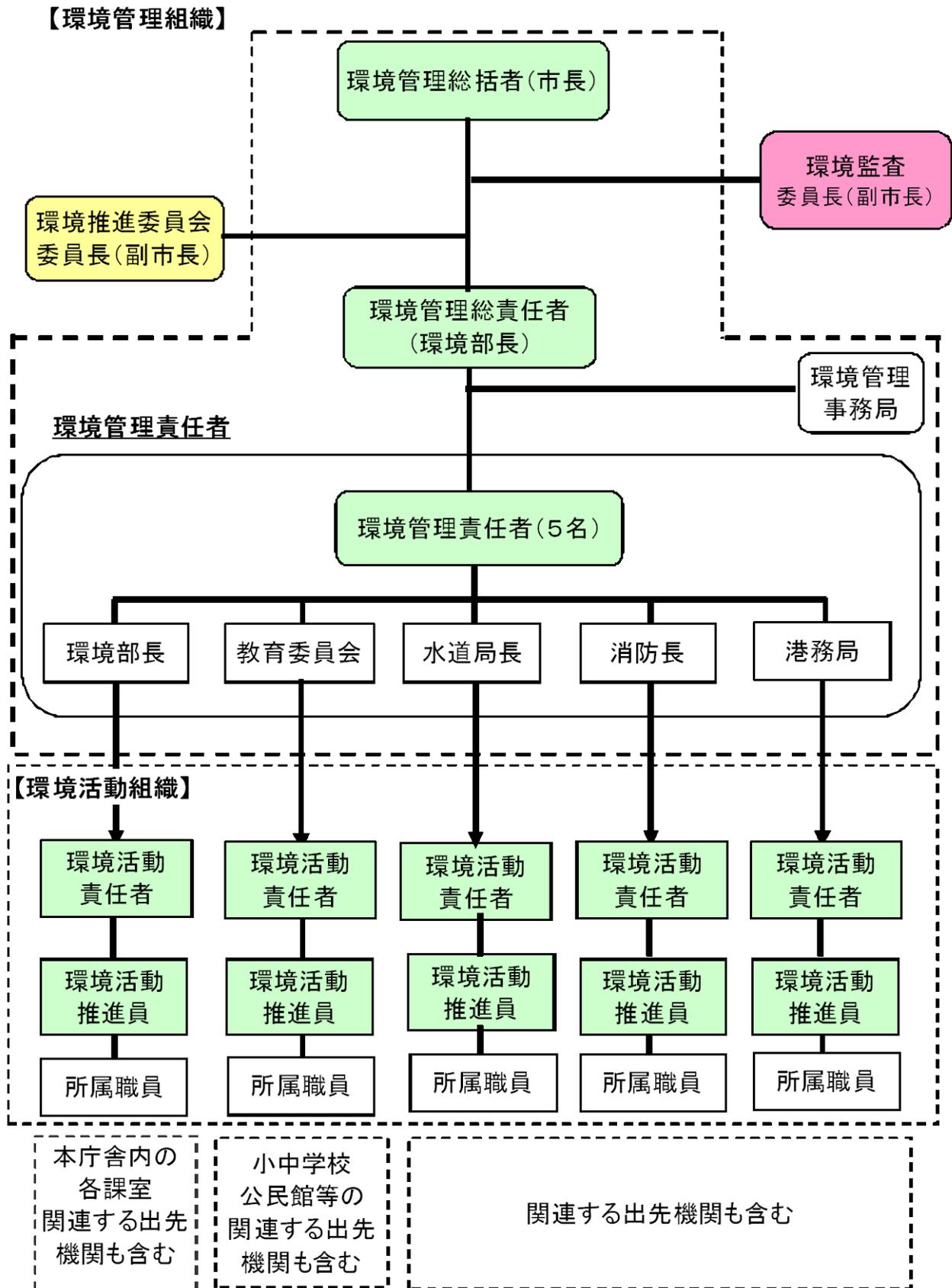
新居浜市は、自らが率先して環境に配慮した行政を推進し、『めざす環境像』の実現に努めます。

2 基本方針

- (1) 環境への負荷の少ない循環型地域を構築するため、エコアクションプランにいほま（新居浜市地球温暖化対策率先行動計画）に基づき、率先垂範するとともに地球温暖化対策や廃棄物の減量を推進します。
- (2) 自然と共生したまちづくりを進めるため、新居浜市環境基本計画、新居浜市環境保全行動計画に基づき、環境の保全及び創造のための各種施策を積極的に推進します。
- (3) 環境マネジメントシステムを継続的に運用・改善するため、組織体制を整備し、役割と責任の所在を明確化します。
- (4) 環境関連法令、条例、協定等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
- (5) 環境目標を設定し、定期的に見直し、継続的な改善を図ります。
- (6) 職員が環境方針を理解し、環境方針に沿った活動ができるよう研修を行います。
- (7) 環境方針、環境マネジメントシステムに基づく活動結果を公表します。

※資料編（環境データ）

3) 組織体制



※資料編（環境データ）

4) ニームス活動結果

環境関連計画推進項目 進捗状況（平成21年度）

【達成状況】 目標達成:



目標未達成:



番号	項目	課所名	平成21年度 目標	平成21年度 活動実績	達成状況
1	低公害車購入の推進	管財課	低公害車 3台購入	低公害車 3台購入	
2	公共施設愛護事業(アダプトプログラム)の推進	市民活動推進課	登録件数 85件	登録件数 76件	
3	資源集団回収の推進	ごみ減量課	資源回収量 2,725t	資源回収量 2,181t	
4	生ごみ処理容器購入助成の推進		補助基数 495基	補助基数 385基	
5	ペットボトル分別収集の推進		回収量 240t	回収量 239t	
6	古紙類分別収集の推進		回収量 2,822t	回収量 2,228t	
7	環境管理システム (ニームス)の運用管理	環境保全課	ニームスの確立を図り、 効率的な運用管理に努める	予定どおり実施	
8	エコ通勤の実施		エコ通勤を継続実施し、 エコ通勤率を公表する	エコ通勤を継続実施 エコ通勤率は38.1%	
9	グリーン購入の推進		グリーン購入を継続実施し、 グリーン調達率を公表する	グリーン購入を継続実施 グリーン調達率は96%	
10	光化学オキシダントの 常時監視を継続実施		被害を最小限とするため、光化学オキシダ ントの常時監視を継続実施する	予定どおり実施	
11	環境活動の推進		森林体験学習、自転車マイレージ活動、環 境PR活動の開催等の環境活動を推進する	予定どおり実施	
12	公共下水道の普及促進	下水道建設課	人口普及率 54.6%	人口普及率 56.2%	
13	廃棄物発電の推進	清掃センター	発電量 7,902,630kwh	発電量 7,908,970kwh	
14	下水汚泥の有効利用	下水処理場	有効利用率 100%	有効利用率 100% (5,273t)	
15	資源再生商品の使用推進 (道路応急補修材)	道路課	資源再生商品使用率 50%以上	資源再生商品使用率 60.9%	
16	都市緑化の推進	都市計画課	花苗等の配布を通して公園や道路等公共 施設の緑化を推進する	花苗10,750株を配布した	
17	森林体験学習の実施	農林水産課	森林体験学習の実施 1回	予定どおり実施 (3月)	
18	有休農地の有効活用	農業委員会 事務局	景観形成作物栽培 3箇所実施	予定どおり実施	
19	スクールエコ運動の推進	学校教育課	子ども環境サミットを開催し、 スクールエコ運動の啓発を図る	予定どおり実施 (7月)	
20	環境関係のお話会の実施	図書館	環境保全に関する本や 紙芝居等の読み聞かせ実施 4回	予定どおり実施	
21	環境関係の資料展示		環境保全に関する資料展示の実施 1回	予定どおり実施 (9月)	
22	上水道有収率の向上	水道局 工務課	有収率 92.0%	有収率 92.09%	

※資料編（環境データ）

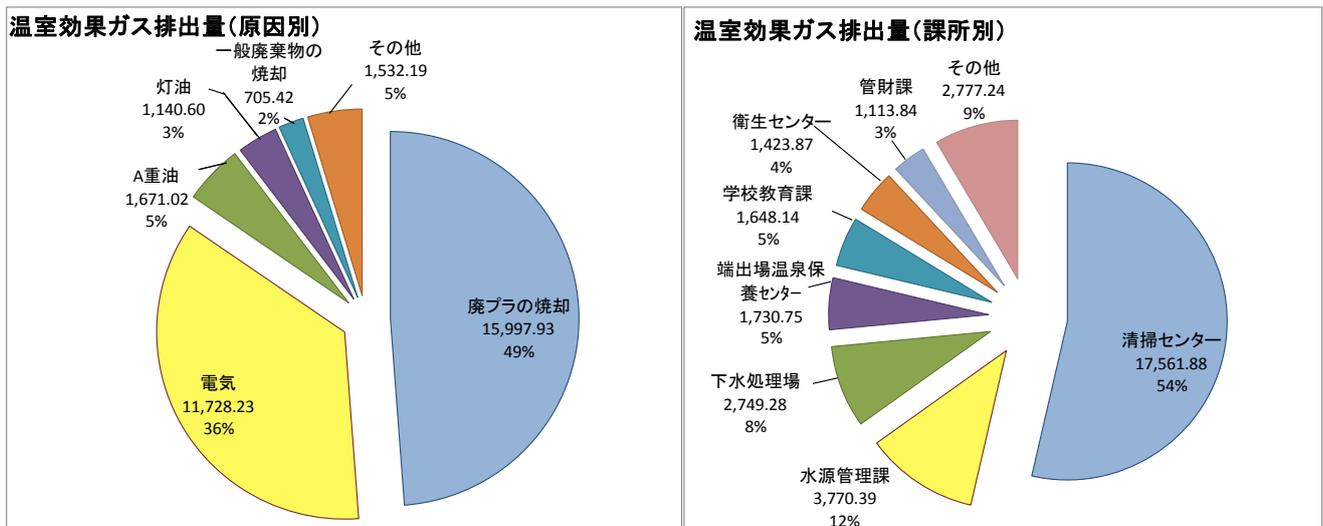
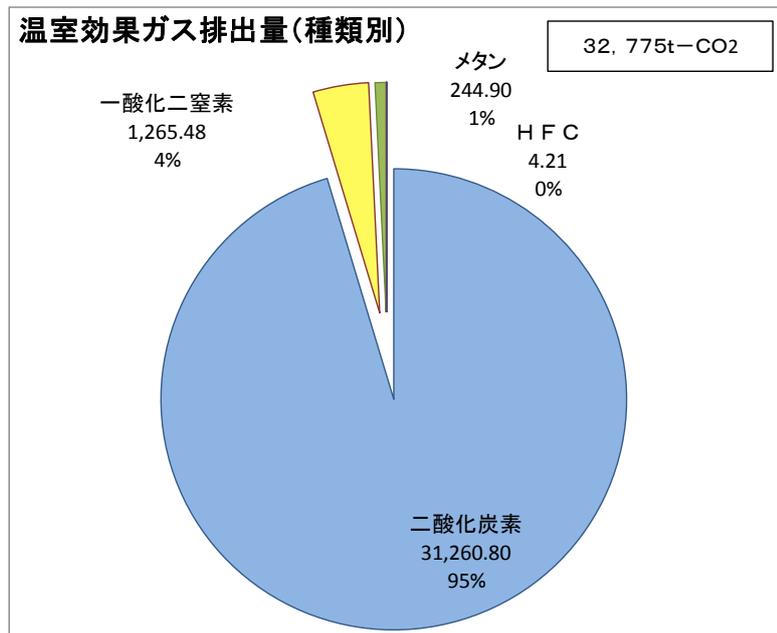
（２）市役所の事務事業から排出される温室効果ガス

1)温室効果ガスの排出状況

温室効果ガス（二酸化炭素など）は、一般廃棄物の焼却、電気の使用、燃料（灯油・ガソリンなど）の使用などによって排出されます。

平成21年度の温室効果ガス総排出量は、**約32,775t-CO₂**であり、基準年度である平成20年度（約32,367t-CO₂）と比較すると**1.3%増**となり、削減する目標を達成できませんでした。

排出量が増加した原因は、一般廃棄物に含まれる廃プラの焼却量増加によるものです。



※資料編（環境データ）

2)活動量調査結果

平成21年度 活動量調査結果 総括表

※項目の は、前年度から増加している項目です。

項目	目標	基準年度 (平成20年度)	目標年度 (平成25年度)	平成21年度実績	対基準年度増 減率	主な増減理由
温室効果ガス総排出量	18%以上削減	32,367 t-CO ₂	26,540 t-CO ₂	32,775 t-CO ₂	1.3%	○二酸化炭素の増
1 電気使用量	4%以上削減	32,770,372 kwh	31,459,557 kwh	31,870,194 kwh	-2.7%	△清掃センター 管財課 衛生センター 水源管理課で減
2 灯油使用量	基準年度値	446,865 ℓ	446,865 ℓ	458,073 ℓ	2.5%	○清掃センター 衛生センターで増
3 A重油使用量	4%以上削減	994,947 ℓ	955,149 ℓ	616,611 ℓ	-38.0%	△運輸観光課 端出場温泉保養セン ターで減
4 液化石油ガス使用量	基準年度値	89,939 kg	89,939 kg	92,326 kg	2.7%	○学校教育課で増
5 ガソリン使用量	3%以上削減	84,773 ℓ	82,229 ℓ	92,594 ℓ	9.2%	○保健センター 別子山支所で増
6 軽油使用量	10%以上削減	88,907 ℓ	80,016 ℓ	88,253 ℓ	-0.7%	△管財課 衛生センター 別子山支所 総務警防課で減
7 公用車の走行距離	5%以上削減	934,216 km	887,505 km	901,078 km	-3.5%	△管財課等で減
水道使用量	基準年度値	541,622 m ³	541,622 m ³	535,827 m ³	-1.1%	△児童福祉課 端出場温泉保養セン ター 学校教育課で減
コピー用紙購入量 (A4換算)	5%以上削減	16,014,848 枚	15,214,105 枚	16,395,144 枚	2.4%	-
封筒購入量 (通常事務用)	基準年度値	191,100 枚	191,100 枚	271,110 枚	41.9%	-